

令和4年度児童養護施設睦の家事業報告書

1 所在地	兵庫県丹波市青垣町文室 204 番 2
2 利用定員	30人
3 職員定数	30人
4 事業開始	平成25年4月1日

[事業運営の基本]

法人理念の実現を目指すと共に、ユニット化と高機能化に向けて適切な諸計画の策定と実行に努めました。事業計画については、社会的養護の推進と子どもの権利擁護、自立支援、地域支援の視点から具体的取り組みについて検討を図りました。

[施設の処遇理念]

- ① 私たちは子どもの権利を保障します。
- ② 私たちは子どもの成長・発達を支援します。
- ③ 私たちは子どもの自立を支援します。
- ④ 私たちは地域の子育てを支援します。

[処遇の基本方針]

規則正しく心地よい生活と信頼関係を基盤として、児童のひとりひとりが護られ、安心安全で健やかに生活できる環境を整え、児童の自主性を尊重しながら生活スキルの獲得と豊かな人間性及び社会性の養成をはかると共に学校、こども家庭センターその他の関係機関と連携し、個性、能力及び発達段階に応じた指導と援助を行い、児童の福祉を高め健やかな成長を促し、その自立と家族再統合を支援する。

[処遇実績]

1 各月初日在籍児童数

区分/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
幼 児	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	26
小 学 生	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
中 学 生	8	8	8	8	8	8	9	9	9	9	9	9	102
高 校 生	8	8	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	86
そ の 他	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	19
計	30	30	29	29	29	29	30	29	29	29	30	30	353

2 一時保護・ショートステイ延日数

区分/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
一時保護		10	48	19		39	23	23		14	7	44	227
ショート			13	17	4			3				11	48

3 入所・退所児童数

区分\月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入所	幼児											1		1
	小学生							2						2
	中学生							1						1
	高校生													
退所	幼児													
	小学生							2						2
	中学生													
	高校生			1										1
	その他								1					1

4 生活時間のめやす

規則正しい生活への自主的な適応を目指し指導に努めました。

平 日		休 日		備 考
起床	6:30	起床	6:30～7:00	おおむね適応している
朝食	6:10～7:30	朝食	6:50～8:00	〃
登校	6:30～8:20	学習	9:00～	〃
おやつ	10:00～10:30	おやつ	10:00～10:30	〃
昼食	12:00～14:00	昼食	12:00～13:00	〃
下校	14:00～19:00			一部の児童は時間外
おやつ	15:00～15:30	おやつ	15:00～15:30	一部の児童は時間外
学習	15:30～	学習	15:30～	おおむね適応している
入浴	16:00～20:30	入浴	16:00～20:30	一部の児童は時間外
夕食	17:30～19:10	夕食	17:30～19:10	一部の児童は時間外
就寝消灯	20:00～23:00	就寝消灯	20:00～23:00	おおむね適応している
自主学習	21:00～24:00	自主学習	21:00～24:00	おおむね適応している

5 児童集団行事等実績

- 5月 7日 みんなでBBQしよう 全児童 勤務職員
- 6月 19日 招待：陸上自衛隊中部方面音楽隊コンサート
中高生7名 職員3名
- 8月 9日 招待：文室地区砂防堰堤工事現地見学会
小中学生12名 職員5名
- 10月 10日 招待：いもほり体験 希望児童13名 職員4名
- 11月 23日 BBQ&焼き芋パーティー 全児童 勤務職員
- 12月 23日 クリスマス会 全児童 勤務職員
- 27日 爪磨きで身だしなみを整えよう
希望中高生8名 勤務職員
- 3月 11日 招待：おもちゃ王国 全幼児4名 職員3名
- 27日 睦の家 春旅行 小中高短生25名 職員8名

6 避難訓練実績

各月1回 年12回

7 支援計画の策定と実施

(1) 自立支援

自立支援計画策定についての見直し（必要な児童については3か月ごとにこども家庭センターと協議）への対応として、全児童についてアセスメントシートを作成しました。

1人の高専4年生については、希望する進路に向け学業に励んでいる。また、措置延長した1名については、訪問指導等を行い、社会への自立のスタートをきることができました。

(2) 個別対応

被虐待児や集団に適応し難い児童等、個別対応が必要とされる児童6名について、生活場面・創作活動での1対1の対応や個別面接を行い、個別ニーズを理解把握し、愛着関係の再構築を図りました。

(3) 家庭支援

保護者への相談等を行い、親子関係の再構築を図り、家庭復帰に向けた支援をした結果、年度内に家庭復帰となった児童は3名でした。また、令和5年度家庭復帰に向けて1家庭1名の支援を行い、長期一時帰宅等における家庭との連携を図っています。

(4) フォスタリング

関係機関と連携しながら、里親支援専門相談員を中心に里親支援の取組を続けました。また、令和1年度里親委託した1名については、週末レスパイト等を継続し、里親子支援を行っています。さらに、里親事前研修を実施し、里親の推進に注力しています。

(5) 児童との懇談会

児童の意見や要望を取り入れ、行事計画を立て、児童の自主的、主体的な活動の機会を増やしました。

(6) 児童集団行事

新型コロナウイルスの影響で、多くの集団行事は実施することができませんでしたが、感染予防を徹底し、春旅行等こどもが楽しめる行事を工夫して実施しました。

8 支援結果の概要

(1) 幼児は日常生活に概ね適応し明るく、元気よく、健やかに生活することができました。愛着面での課題が顕在化する児童がおり、個別対応等で工夫をしながら支援しました。

(2) 新型コロナウイルス対策のため、学校行事等が一部縮小しましたが、小学生の多くは、明るく、元気よく生活することができました。軽度発達障害や情緒面が不安定である児童については、学校、関係機関と連携しながら支援しました。

(3) 新型コロナウイルス対策のため、学校行事等が一部縮小しましたが、中学生全般に元気に生活することができました。中学3年生3名はしっかりと学習に取り組み、それぞれが希望する高校に進学することができました。

(4) 高校生7名は、概ね安定した高校生活を送ることができました。高専4年生1名については、希望どおり進級することができました。短大生1名は期間延長し、自立支援に努めました。

(5) 特別な支援の必要な児童12人

知的障害3、情緒・軽度発達障害9

(6) 通院児童 30人、延321人

(7) 予防接種 インフルエンザ25名 日本脳炎1名 二種混合0名 麻疹風疹0名

(8) 健康診断 春30名 秋30名

[運営管理]

1 人事・労務

(1) 職種別職員数

職 種	施設長	児・保	心理士	事務	栄養士	調理員	非常勤	嘱託	計
年度始	1	17	1	1	2	3	6	1	32
年度末	1	17	1	1	2	3	4	1	30

(2) 職員採用

月 日	職 種	学 歴	福祉施設経歴等
04月01日	心理士	院卒	なし

(3) 職員異動・変更

月 日	職 種	異動状況
04月01日	指導員	若草寮へ異動
04月01日	保育士	若草寮より異動
04月01日	栄養士兼指導員	若草寮より異動

(4) 職員の退職

月 日	職 種
09月02日	管理宿直専門員
03月04日	非常勤調理員

2 協定締結及び届出

36協定（令和4年3月27日締結 3月27日届出）

3 会議

(1) 施設が開催した内部の主要会議

- ① 職員会議
- ② 職員ミーティング
- ③ リーダー会議（副施設長、フロアーリーダー、統括児童支援、事務、調理）
- ④ 給食会議
- ⑤ 児童と職員の会議
- ⑥ 支援検討会議（自立支援計画策定会議を含む）
- ⑦ 実習生と職員との反省会議

(2) 関係機関等開催の外部会議

県養連協議員会議、児童福祉施設関係機関会議、職員幹事会議、小中PTA会議、高校評議員会、こども家庭センターとの会議、小学校・中学校・教育委員会との会議、県児養連理事会、要保護児童対策地域協議会議、丹波市社会福祉法人協議会、丹波市子ども子育て会議

4 職員健康診断 入社時検診 6月 1名
定期健診 7月 16名
(12月 1月 2月 3月) 25名
インフルエンザ予防接種 12名
腸内細菌培養検査 17回 延べ68名

5 監査等

(1) 第三者評価

内部評価

(2) 行政指導監査

チェックリストによる監査

(3) 消防査察

消防査察 令和4年度はなし

(4) 自主点検

建物遊具点検（毎月）

6 研修

(1) 職員外部研修

中堅職員研修、ファミリーソーシャルワーカー研修、里親研修会

(2) 職員内部研修

事業計画、子育て支援規準研修、自立支援計画実施研修、支援技術研修、
栄養・給食研修、施設内虐待防止研修

7 苦情解決

*令和4年度は意見箱や口答で苦情や要望があり、以下の通り対応しました。

①春の旅行に行きたい。

・3月にニフレやおもちゃ王国への日帰旅行を行った。

〔施設整備等〕

1 建物・設備の整備

多目的棟 14,011,971円 7月

2 器具及び備品、ソフト、車輛の購入

ノートパソコン 2台	264,000円	4月
セキュリティシステム 1台	220,000円	4月
冷蔵庫（多目的棟） 1台	198,000円	7月
空気清浄機 AirDog8pro 1台	349,470円	9月
々々 X5 1台	148,500円	9月
LANケーブル工事	165,000円	11月
デスクトップパソコン 2台	292,600円	11月

〔寄付金・寄付物品受領〕

寄付件数 89件 656,150円

〔地域との交流・連携〕

1 実習生・ボランティアとの交流と連携

・実習生等の受入と指導及び実習関係大学との交流・連携

※実習受け入れ校

豊岡短大 湊川短大 大阪青山大 元町こども専 13名 130日

2 里親研修の受入 7組 14日間

専門里親研修の受入 1組 4日間

3 関係機関・各種団体との連携

・県児童課等関係部局、こども家庭センター、関係市家児相、健康福祉事務所

- ・教育・保健・医療機関
 - ・市役所、警察署、消防署、職安、労基署、社会保険、その他の官公庁
 - ・民生委員児童委員、主任児童委員、子どもの権利擁護委員会
 - ・県児童養護連絡協議会、近畿児童養護施設協議会、全国児童養護施設協議会
 - ・第三者委員
 - ・社会福祉協議会、共同募金会、但馬里親会、北摂丹波里親会
 - ・要保護児童対策協議会（丹波市、丹波篠山市）
- 4 地域の子育て相談事業・支援事業
- ・一時保護
 - ・ショートステイ事業